


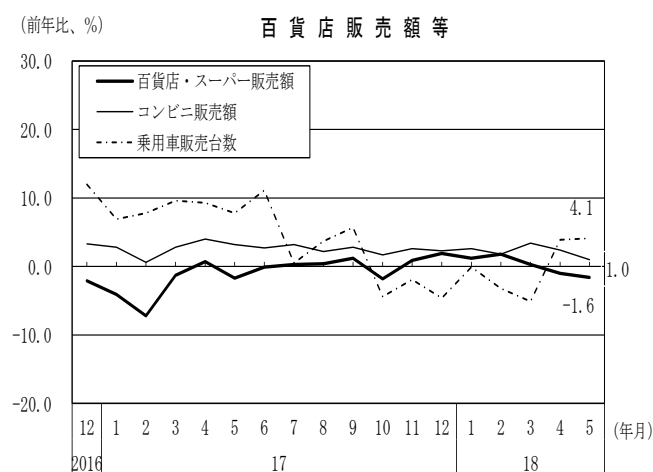
●最近の県内経済

基調判断
(2018年5月を中心として)



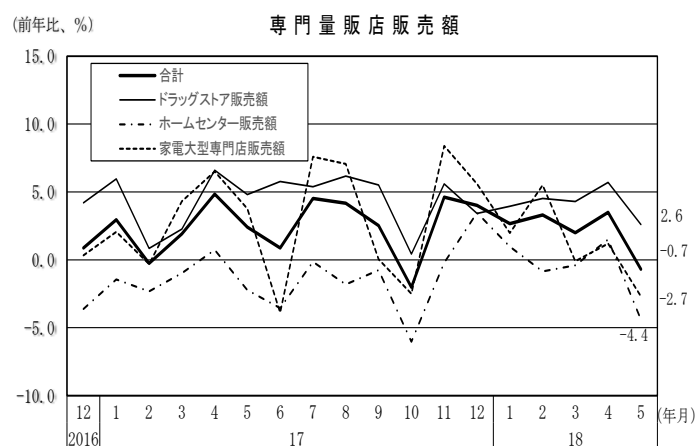
今月の概要
県内景気は緩やかに回復している。

1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

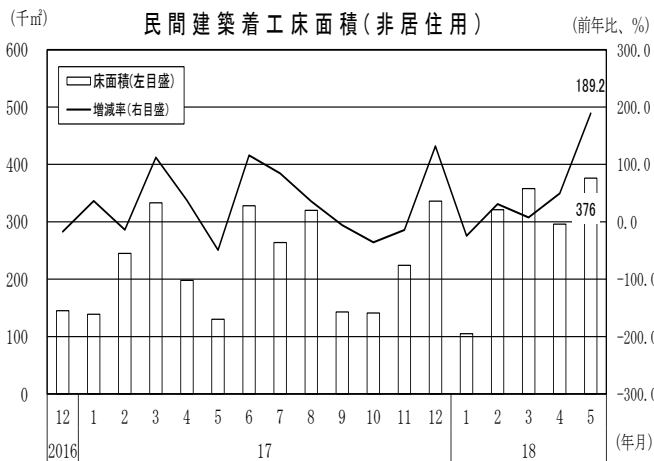
5月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、822億円で前年比1.6%減少した。百貨店は同4.8%減、スーパーは同0.9%減とともに減少した。コンビニ販売は同1.0%増と堅調を継続している。乗用車販売(軽含む)は、同4.1%増で2か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車が同3.4%減と8か月連続減少したものの、普通車が同0.4%増、軽乗用車が同16.3%増加した。



(資料)経済産業省

5月の専門量販店販売額は、650億円で同0.7%減少した。内訳をみると、ドラッグストアは323億円で同2.6%増と堅調を継続している。家電大型専門店が143億円で同2.7%減、ホームセンターが185億円で同4.4%減とともに減少した。

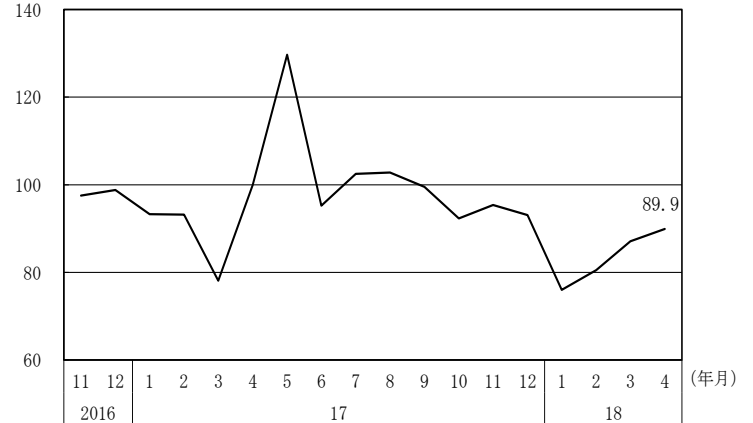
2 設備投資 増加基調



(資料)国土交通省

5月の民間建築着工床面積(非居住用)は、376千㎡で前年比189.2%増と4か月連続増加した。用途別にみると、店舗、工場及び作業場、倉庫がともに増加した。

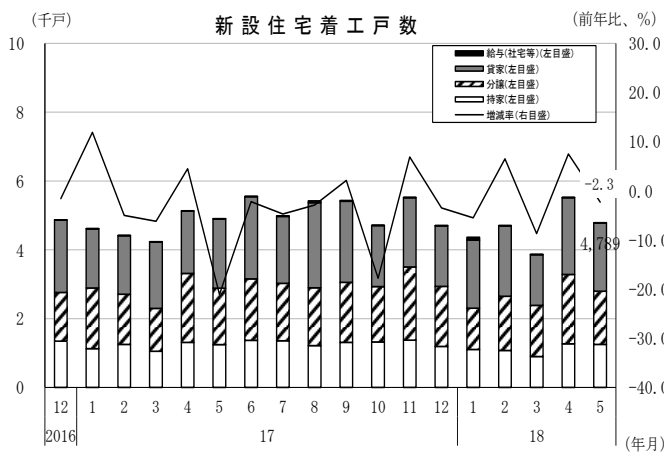
資本財出荷指数
(季節調整済) (2010年=100)



(資料)埼玉県

4月の資本財出荷指数(季節調整済)は、89.9で前月比3.2%上昇した。

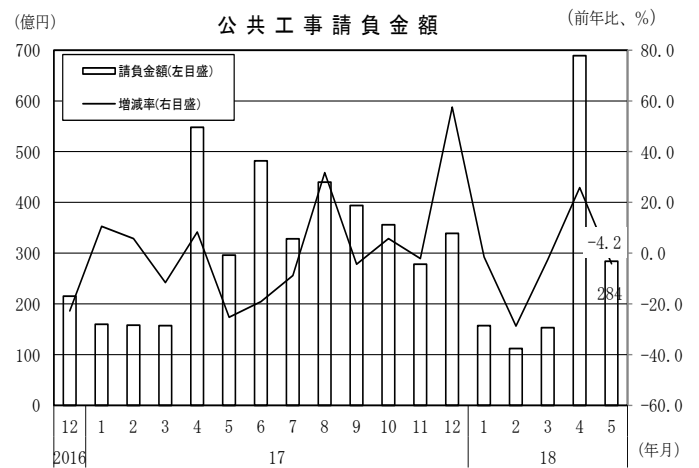
3 住宅建設 下げ止まり



(資料)国土交通省

5月の新設住宅着工戸数は、4,789戸で前年比2.3%減少した。利用関係別にみると、持家は1,253戸で同0.5%増、分譲マンションが349戸で同0.3%増とともに増加したものの、貸家は1,983戸で同1.7%減、分譲戸建てが1,190戸で同6.5%減少した。

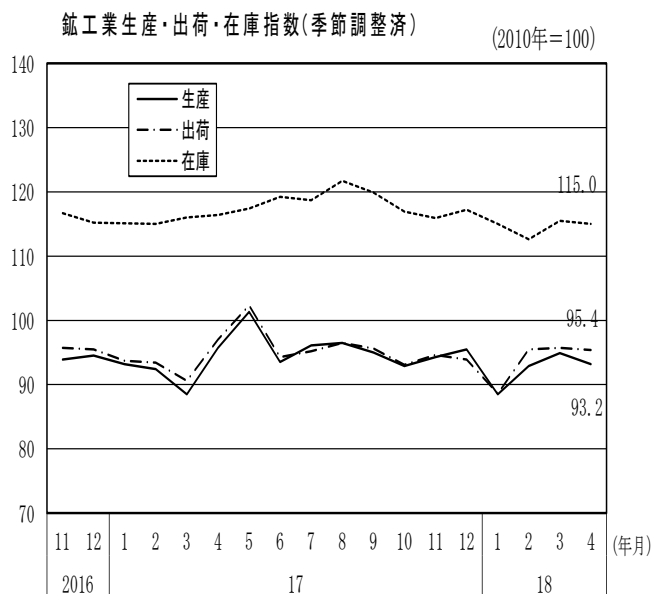
4 公共工事 持ち直しの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

5月の公共工事請負額は、284億円、前年比4.2%減少した。発注者別にみると、国、都道府県、市町村が増加したものの、独立行政法人等が減少した。

5 生産活動 一進一退

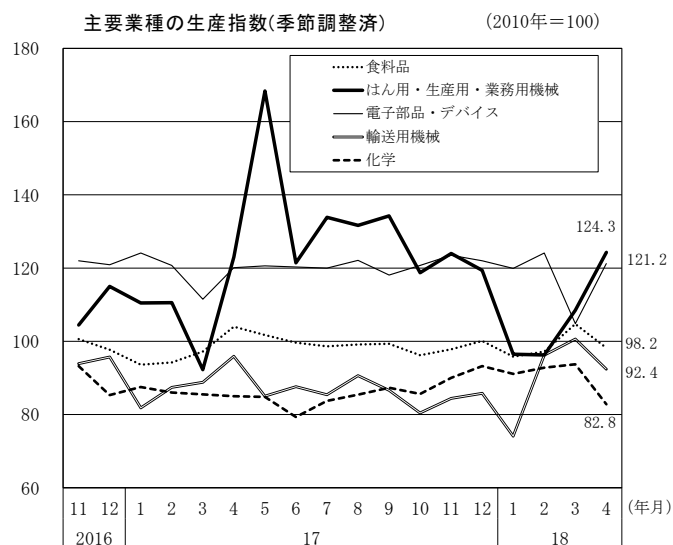


(資料)埼玉県

4月の生産指数(季節調整済)は、93.2で前月比1.8%低下した(3か月ぶりの低下)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、情報通信機械(交換機)などが上昇したが、化学(医薬品)、業務用機械(医療用機械器具)、輸送用機械(乗用車)などが低下した。

出荷指数(同)は、95.4で同0.3%低下した(3か月ぶりの低下)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)が上昇したが、業務用機械(医療用機械器具)、化学(化粧品、医薬品)などが低下した。

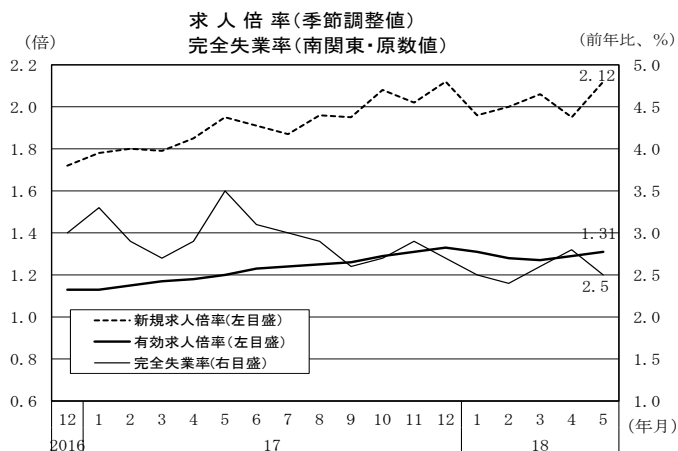
在庫指数(同)は、115.0で同0.4%低下した(2か月ぶりの低下)。窯業・土石(セメント)が上昇したが、プラスチック製品(プラスチック製容器・フィルム)、パルプ・紙加工品(段ボール原紙)などが低下した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、98.2で前月比6.2%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は121.2で同15.6%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、124.3で同14.7%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、92.4で同8.2%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、82.8で同11.6%低下し、3か月ぶりの低下となった。

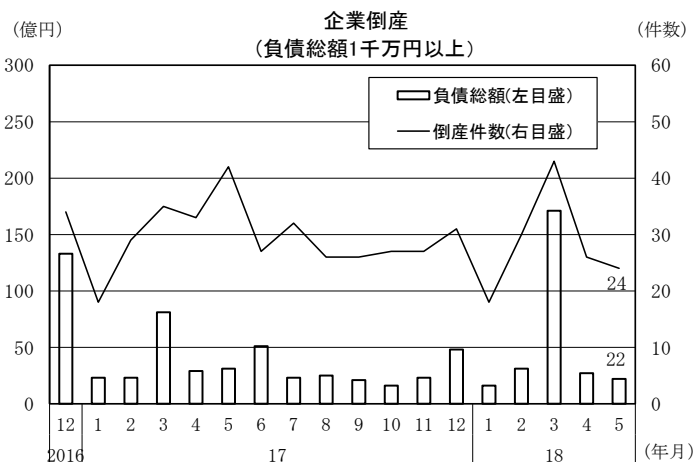
6 雇用情勢 着実に改善



(資料)厚生労働省、総務省

5月の新規求人倍率(季節調整済)は2.12倍で前月比0.17ポイント上昇、有効求人倍率(同)も1.31倍で同0.02ポイント上昇した。完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%と同0.3ポイント改善している。

7 企業倒産 低水準



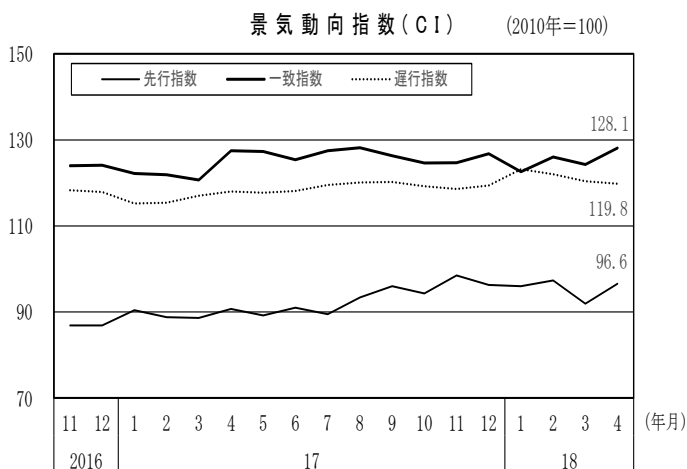
(資料)帝国データバンク

5月の企業倒産件数は、24件で前年比18件の減少、負債総額も22億円で同9億円の減少となった。

業種別にみると、サービス業が6件で最も多く、次いで卸売業が5件、建設業が4件となっている。サービス業が2か月ぶりに最多となった。主因別では、販売不振が20件で最も多くなっている。

〈参考〉

景気動向指数 (CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

4月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、128.1で前月比3.8ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、96.6で前月比4.7ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、119.8で前月比0.6ポイント低下し、3か月連続の低下となった。